

## 高等学校 新学習指導要領告示

# 2009年度センター試験英語と「言語活動」との関連を分析

2009年3月9日に「高等学校新学習指導要領（以下、新指導要領）」が告示された。改訂のポイントは以下の3点である。

- ①教育基本法の理念を踏まえた改善
- ②知識・技能の習得と、思考力・判断力・表現力等の育成のバランス重視
- ③言語活動の充実等について見直し

「知識・技能を活用して課題を解決するための思考力、判断力、表現力などの育成、言語活動の充実、学習習慣の確立」など、本誌の昨年11月号特集記事で扱った「PISA型読解力」につながる課題解決型の学力育成がうたわれている。

そこで今回は英語のみに絞って、上記の中から特に「言語活動」に焦点を当て、その具体的な内容に迫ってみる。

新指導要領の「外国語」における目標は、「外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や

考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う」ことであり、4つの領域（聞く、話す、読む、書く）の言語活動を適切に行うことが強調されている。

このことは、実際の入試問題ではどのような形で具現化されるのであろうか。そこで2009年度センター試験との関連を分析した。

【表】は、新指導要領における科目およびその主な指導内容と、センター試験英語（筆記）の各設問との対応を表したものである。

では、相互の関連性が特に強いと思われる3点に関して具体的にみていこう。

## 1 リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴

—センター試験（筆記）第1問D—

### 【問題例1】

機能語と内容語\*1、旧情報と新情報により強勢が置かれる位置が決まることから、この問題は新指導要領が言

【表】新学習指導要領における科目・主な指導内容とセンター試験の対応

科目	主な指導内容	2009年度センター試験（筆記） （ ）は設問内容
コミュニケーション英語基礎（2単位）	中学校における学習との接続と「コミュニケーション英語Ⅰ」における学習への円滑な移行	
コミュニケーション英語Ⅰ（3単位）	リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意 事実と意見などを区別して、理解したり伝えたりすること	→第1問D（文強勢） →第3問C（文補充） →第3問B（発言の主旨）
コミュニケーション英語Ⅱ（4単位）	速読力、精読力の育成 文章の構成や図表との関連 未知の語の意味を推測	→第5問A、B、C（ビジュアル問題） →第6問（長文読解） →第4問A（図表問題）*2 →第3問A（意味類推）
コミュニケーション英語Ⅲ（4単位）	コミュニケーション英語Ⅱに示す言語活動をさらに発展	→第6問（長文読解）
英語表現Ⅰ（2単位）	即興で話す、簡潔に書く、発表する 聞いたり読んだりした内容について、そこに示されている意見を他の意見と比較して共通点や相違点を整理したり、自分の考えをまとめたりすること	→第4問B（図表問題）*3 →第3問B（発言の主旨）
英語表現Ⅱ（4単位）	文章の構成や図表との関連を考へながら書くこと	→第4問A（図表問題）*2
英語会話（2単位）	生活に必要な基本的な表現を使つての会話	→第2問B（対話文完成）

\*1：機能語とは代名詞、前置詞、接続詞、間投詞を指し、内容語とは名詞、動詞、形容詞、副詞を指す。

\*2・3：本誌2008年11月号「『PISA型読解力』と大学入試」において、2007年度センター試験の第4問を取り上げたが、2009年度でも、非連続テキストを題材とした出題がなされた。

D 次の下線を引いた文において、強く発音する部分を最も適当に示しているのはどれか。下の①～④のうちから一つ選べ。強く発音する部分は●で示してある。

7

While holding down button C, press both D and F for five seconds. Oh, dear. It's so complicated that I feel confused just reading the manual.

- ① It's so complicated that I feel confused just reading the manual.
- ② It's so complicated that I feel confused just reading the manual.
- ③ It's so complicated that I feel confused just reading the manual.
- ④ It's so complicated that I feel confused just reading the manual.

語活動を効果的に行うために指導のポイントとしてあげている「リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること」の箇所を具現化している問題と言える。(正解は④)

## 2 速読力、精読力の育成

—センター試験(筆記)第5問A、B、C、第6問—

### 【問題例2】

第5問 次の問い(A～C)に答えよ。(配点 18)

A 次の絵の説明として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。



- ④ Seeing the drum major lead the marching band live is very exciting. He marches out in front of the band, with his arms swinging and a long, thin baton in his right hand. His uniform looks distinctive, with the school letters across the front and a row of buttons running up both sides. His hat is striking, with three white cords across the front and an eye-catching white feather set near the top.

選択肢①～③は割愛

一般的に「速読、精読」の能力が試される問題としては第6問が対応すると考えられるが、ここでは第5問に注目してみたい。第5問は一般的に「ビジュアル問題(絵—説明)」と呼ばれることが多いが、実はここで「速読、精読」の能力が試されている。【問題例2】の第5問Aの場合、選択肢の合計語数は272wordsであり、解

答における時間配分からすれば、限られた時間の中で「速読」しなければならない。しかも、各選択肢は70words前後であり、ダミーとなる選択肢は、その大半の内容が正しい記述であり、間違っている箇所は10words程度の情報だけである(なお正解は前掲の④である)。従って、かなり細かい部分を読みとらなくてはならないので、ここに「精読」の要素が盛り込まれていると考えられる。この問題は新指導要領が指導のポイントとしてあげている「説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする」という箇所を実践的に取り入れた問題であると言える。

## 3 未知の語の意味を推測

—センター試験(筆記)第3問A—

### 【問題例3】

第3問 次の問い(A～C)に答えよ。(配点 44)

A 次の問い(問1・問2)の英文を読み、下線部の語句の意味をそれぞれの文章から推測し、27・28に入れるのに最も適当なものを、それぞれ下の①～④のうちから一つずつ選べ。

問1

Elsie: Hi, Chiara. How's your speech for tomorrow's class coming along?

Chiara: Actually, I'm in a bit of a panic. The topic I chose to talk about is a real can of worms.

Elsie: Really?

Chiara: Yes, it's incredibly complicated. There are so many issues involved. I just can't see how to cover everything in a three-minute speech.

In this dialogue, a real can of worms means something that 27 .

- ① contains many secrets
- ② has a lot of problems
- ③ is not interesting
- ④ takes little time

28 の問題は割愛

ここで扱われているa real can of wormsという表現は、大半の高校生にとっては未知のものであろう。対話を背景とし意味の推測をするという思考プロセスは、新指導要領が指導のポイントであげている「未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞いたり読んだりすること」に該当する問題と言える。(正解は②)

\* \* \*

このように新指導要領を外国語の科目の中であげている指導内容に照らし合わせながらセンター試験を見てみると、言語活動を効果的に行うという大目標はすでに具現化されていることがわかる。

なお、新指導要領における主な指導内容はほかにもあるが、今後、高等学校へ与える影響や入試への影響も含め、分析を深めていく予定である。